

12月10日
自分で考え、体験する
紙飛行機大会を開催 | 認定こども園ましゅう



紙飛行機を飛ばす園児たち
認定こども園ましゅう(鈴木幸榮園長)で12月10日、紙飛行機大会が開催されました。この行事は今年度初めて企画されたもので園児たちが「自分で頭を使い、自分で作ったものを実際に使ってみる」ことを目的に行われたもの。うさぎ組とくま組、ぞう組の園児合わせて88人が参加しました。園児はそれぞれ自分の好きな色や形の紙飛行機を作り、クラスの男女ごとに分かれ先生の掛け声で紙飛行機を一齐に飛ばしました。ぞう組の大内蒼馬君は「紙飛行機を作るのも飛ばすのも楽しかった」と笑顔で話していました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!
このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。
まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

12月14日
学びと絆づくりの推進に
生徒3人の応募作品が入選 | 弟子屈高校



桶川さん(左) 工藤さん(右)
北海道教育委員会が主催する釧路管内「北海道学び推進月間」標語と、「絆づくりメッセージコンクール」に弟子屈高校(濱村隆康校長)の生徒3人が入選し12月14日、同校で釧路教育局川端雄一局長から表彰を受けました。このうち学びの取り組みを推進する標語で、藤本星波(1年)さんが最優秀賞、桶川結稀(2年)さんが奨励賞を受賞。いじめやネットトラブルの根絶を目的としたメッセージコンクールでは、工藤芽衣(1年)さんが奨励賞を受賞しました。標語で奨励賞を受賞した桶川さんは「自分の興味のないことや苦手なことでも積極的に学び続けたい」と目標を掲げていました。

12月11日
リアルタイムで星空を観察
川湯パークサービスセンターにプラネタリウム



スクリーンに映る星空
一般財団法人自然公園財団川湯支部(大坂政昭所長)が運営する川湯パークサービスセンターに、シアター型の平面プラネタリウムが設置され、その試写会が12月11日に行われました。このプラネタリウムは、同財団が(一財)日本宝くじ協会の助成事業を活用し設置したもので、220インチのスクリーンにその日の弟子屈の星空が映し出され、摩周湖第1展望台上空を360度、リアルタイムで見ることができます。同財団の大坂所長は「4月にオープンするので、観光客や修学旅行生だけでなく、町民の皆さんにもぜひ利用してもらいたい」と今後の期待を話していました。

12月18日
人権ってなんだろう?
人権教室を開催 | 奥春別小学校



真剣に講師のお話を聞く児童
釧路人権擁護委員会主催の人権教室が12月17日、奥春別小学校(寺田裕子校長)で開催されました。講師は弟子屈町人権擁護委員の日下部真理子さんと芳藤啓順さん。児童は2・3年生、5・6年生の2グループに分かれ、誰もが持つそれぞれの個性や、いじめなどの身近な人権問題をテーマにしたDVDを視聴。講師の2人は「人権とは人が幸せになるということ」「思いやりの心と優しい心を大切に」と話し、児童は真剣に講師の話聞き、人権への理解を深めました。

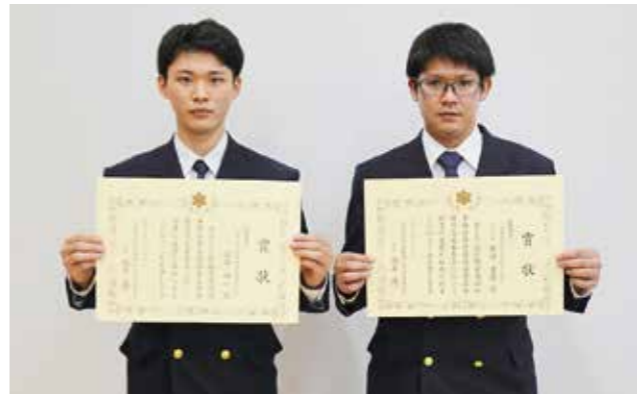
12月16日
12月の恒例行事
餅つき大会を開催 | 認定こども園ましゅう



懸命に餅をつく園児たち
認定こども園ましゅう(鈴木幸榮園長)の餅つき大会が12月16日、同園で行われました。餅つきは、お正月を前に毎年行われていますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒とマスクの着用が徹底され、例年より小さな臼ときねが使用されました。125人の園児たちが順番に「よいしょ、よいしょ」という掛け声に合わせて、計2キロの餅をつきました。ついた餅は、例年はきな粉餅などにして食べていましたが、今年は「みんながけがや病気をしないようにお供えします」と先生が話し、鏡餅として飾られました。

防災・防火への思いを発表

令和2年度消防官の意見発表会



賞状を手に 渋谷さん(左)、房田さん(右)

同じく優秀賞を受賞した浜中消防署に所属する房田勇希さんは、日ごろから避難行動を発信、伝承することの必要性を主張。過去の災害を語り継ぎ危機意識を共有し、日ごろから備える大切さを強調しました。
2人は、1月15日に帯広市で開催された道東地区消防職員意見発表会に出場しました。



「備え」をテーマに意見発表

釧路管内消防事務組合連絡協議会主催による、令和2年度消防官の意見発表会が12月3日、釧路北部消防事務組合消防本部で行われました。この発表は、釧路北部と釧路東部の事務組合に所属する若手職員が、消防の仕事を通じて感じたことや、仕事に関する提言を行い、地域住民の命を守る消防士としての意識を高めようと毎年行われています。両組合から6人が「備えることの大切さ」などをテーマにそれぞれの意見を発表しました。
優秀賞を受賞した鶴居消防署に所属する渋谷瑛一さんは、大規模災害への備えの重要性を改めて訴え掛け、コンビニエンスストアへの防災コーナーの設置を提案しました。

町の話題
CloseUp Topics



出席者全員で記念撮影

大人としての第一歩に祝福

第73回弟子屈町成人式



記念品を受け取る野上真さん



交通安全宣言を行う菅原龍樹さん



記念品を受け取る谷田優花さん

例年、式典終了後に開催していた祝賀会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止になったことから、祝賀会を主催していたユースフルネットワークてしかが(今井慎也会長)から、代表の谷田優花さんへ代わりの記念品が贈呈されました。
町教育委員会主催の第73回弟子屈町成人式が、1月10日、摩周観光文化センターで開催されました。今年、町内で成人を迎えたのは42人。式典にはその内の39人が出席しました。新成人を代表して、一ノ戸利雄さんと梅津穂乃香さんが「常に向上心を持ち、後輩たちの手本となり、地域に貢献していきたい」と誓いの言葉を読み上げたほか、菅原龍樹さんが弟子屈警察署の宮川敬之署長に交通安全宣言を行い、交通ルールを厳守すると誓いました。